

組織目標評価報告書（令和5年度）

34

部局名： **グローバル・ディスカバリー・プログラム**部局長名： **ディレクター 菅 誠治**

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	関連する 中期計画の番号	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	(7-1)	<p>1. 6月17日(土)にオンラインで実施した入試説明会には、約80名の参加があり、活発な質疑応答が行われ、そのうちの27名がディスカバリー入試に実際に出願した。出願者にとってはGDPを知ることのできる重要な機会であると考えられる。また、2023年8月に開設したInstagramは、3月末現在フォロワー数207人となっており、在校生のリアルなキャンパスライフを含む様々な情報を発信している。</p> <p>2. 入試については、出願書類の不備を防ぐため、HPのFAQの内容を充実させた。現在は次年度の募集要項について、学生目線でもより分かりやすい内容となるよう、出願資格を事前に確認できるオンラインフォームを作成中である。</p> <p>3. 成績不振の学生に関しては、年2回事務室で資料を作成し、指導教員にも連絡の上面談の場を設けるなど適宜対応している。マッチング・トラックに進んだ学生については、マッチング・アドバイザーを中心に指導を行っている。</p> <p>4. 教職員はMoodle掲示板で随時就職・インターンシップに関する情報を発信し、キャリア支援の充実に努めている。今年度からGDP独自に、岡山芸術創造劇場ハレノワでインターンシップができるよう、教員が調整役となり募集を開始した。また、ホームカミングデーでは、3名の卒業生によるキャリア・進学についての講演を依頼し、42名(オンライン含む)の参加があり、活発な意見交換が行われた。1年生で参加した学生も多く、卒業後の進路を考えるきっかけとなった。加えて、在学生が中心となり、国内外の大学院進学に関する座談会を企画し、海外で進学経験のある教員から助言を行った。</p>
②研究領域	関連する 中期計画の番号	研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 中期計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	(7-1)	<p>1. 2023年10月にGDP改革検討委員会を立ち上げ、3月までに計9回の議論を行った。3月中には中間まとめを作成し、引き続き検討を進めていく。</p> <p>2. 2024年度の運営委員会は、9月以降開催分から対面開催に変更した。オンライン開催とは異なり、他学部の委員からも多くの質問が出るなど、少しずつ実質的な議論ができていく。</p>
⑤センター・機構等業務	関連する 中期計画の番号	達成度 5 4 3 2 1 センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。

(※該当がある場合のみ) 昨年度の指摘事項に対する取組状況

改善を要する点	・後任のディレクターを決定(育成)できなかったことは組織として問題だと考えます。
対応状況	ディレクターの業務が多岐に渡り、負担が大きいことが後任のディレクターを決定することができなかった要因の一つであったため、2023年度は、副ディレクターを3名選出し、執行部でのディスカッションの場を多く設け、協力して業務に当たるよう改善した。